

目 次

I. 総括研究報告	
放射線診療の発展に対応する放射線防護の基準策定のための研究	1
細野 眞	
II. 分担研究報告	
1. ルテチウム-177 標識 PSMA 特異的リガンド (Lu-177-PSMA-617) の治験適正使用に 関する検討	23
細野 眞	
2. 合理的な放射線防護及び医療機関への行政機関の関与のあり方に関する研究	60
山口 一郎	
3-1. 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室・診療用放射線照射装置使用室に 併設されるエックス線装置及びCTエックス線装置 (IGRT装置) の漏洩線量測定 の必要性について	90
3-2. 規則第27条第3項及び規則第28条第2項に規定する12月20日までに翌年において 使用を予定する放射性同位元素の数量の届出の必要性について	117
高橋 健夫	
4. 放射線診断・IVRにおける放射線防護の基準策定	138
赤羽 正章	
5. 放射線診療の国際基準とのハーモナイゼーションに関する研究	143
奥山 智緒	
6. アクチニウム225 (²²⁵ Ac) およびイットリウム90 (⁹⁰ Y) 標識抗ポドプラニン抗体放射 免疫療法：悪性中皮腫等に対する新規核医学治療における安全管理に関する研究 (退出基準案の作成) およびアクチニウム225 (²²⁵ Ac) 標識薬剤におけるトレーラー ハウス型RI治療施設の医学利用に関する研究	186
東 達也	
7-1. 放射線診療従事者等に対する研修プログラムの作成	198
7-2. 医療被ばく管理の実態の把握	213
松原 孝祐	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	269